



お風呂で、指が短く見えるのはなぜなの

光の向きがかわる

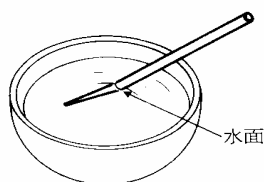
お風呂に入って手の指をお湯の中に入れてみると、指が短くなったように見え、目がおかしくなったように感じる場合がありますね。お湯から再び指を出すと、また、もとの長さになります。いったいどうして、こんなことがおこるのでしょうか。

人間は、光が物に当たってはね返り、この光が目に入ることによって物を見ています。空気と水、あるいは空気とガラスなど、とうめいなものを光が通るとき、光が折れ曲がり進む向きを変えることから、このようなことがおこるのです。

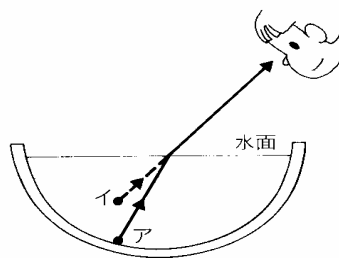
水の入った茶わんに、はしを入れてみよう

茶わんに水を入れ、そこへ、はしを入れてみましょう。はしが水面から折れ曲がっているように見えるでしょう。そして、短くなっているようにも見えますね。

これは、水中から空気中へ出ている光が水の表面で折れまがり、見ている人の目にとどくためです。人間は光が折れ曲がってきているとは感じないで、入ってきた光の方向に物があると感じるからです。（監修 小川 格）



●水面から曲がって見えるはし、短くなったように見える。



●アから出た光は水面で方向をかえ目にとどく。このため、アにあるものが、目から見ると、イにあるように見える。

